

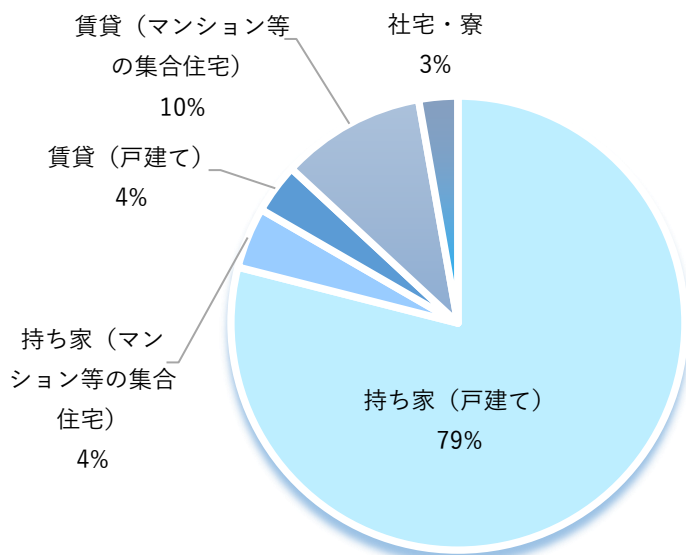
## 「電気自動車（EV）の関心度について」

募集期間：2023/09/01-2023/10/31 回答総数 252 人

電気自動車（EV）について、市民の皆さんが感じていることや意見を調査し、その結果を踏まえて、今後の取組を検討したいと考えています。

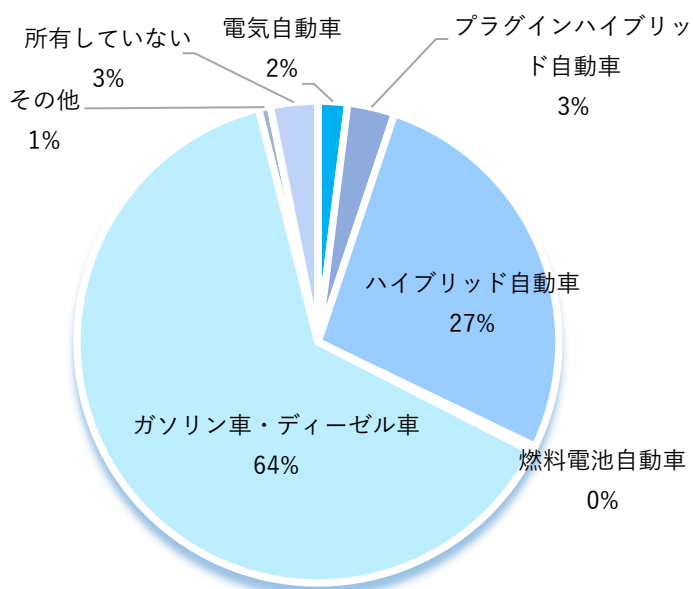
Q1：あなたのお住まいの居住形態を教えてください。（1つ選択）

1. 持ち家（戸建て）	199 人
2. 持ち家（マンション等の集合住宅）	11 人
3. 賃貸（戸建て）	9 人
4. 賃貸（マンション等の集合住宅）	26 人
5. 社宅・寮	7 人
6. その他	0 人



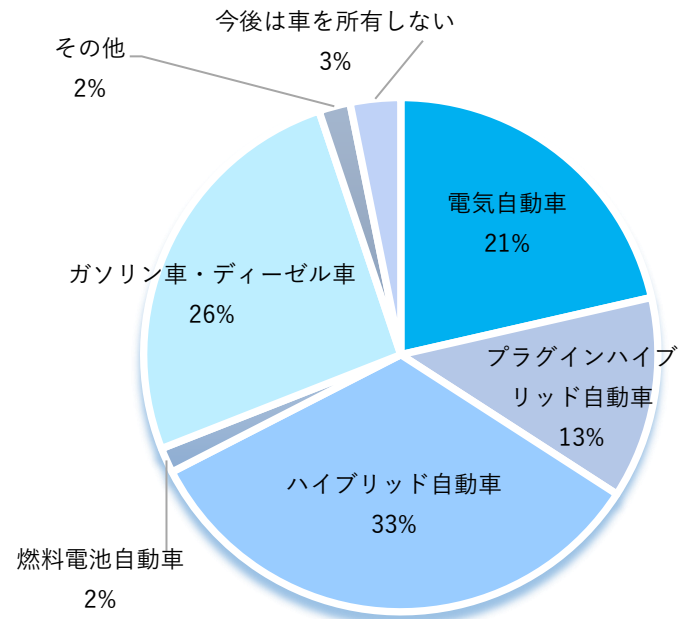
Q2：あなた又は同居のご家族は、どのような車を所有していますか。（1つ選択）

1. 電気自動車	5 人
2. プラグインハイブリッド自動車	8 人
3. ハイブリッド自動車	68 人
4. 燃料電池自動車	1 人
5. ガソリン車・ディーゼル車	160 人
6. その他	2 人
7. 所有していない	8 人
8. わからない	0 人



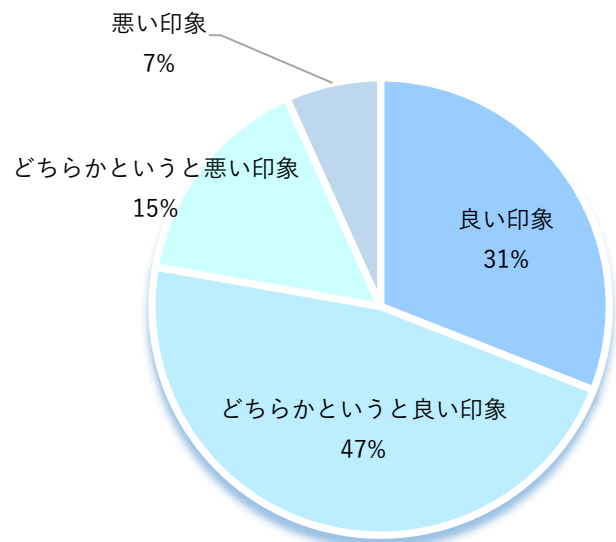
Q 3：今後車を新たに購入又は買い替えるとしたら、どのような車を検討したいですか。(1つ選択)

1. 電気自動車	54人
2. プラグインハイブリッド自動車	32人
3. ハイブリッド自動車	84人
4. 燃料電池自動車	4人
5. ガソリン車・ディーゼル車	65人
6. その他	5人
7. 今後は車を所有しない	8人



Q 4：電気自動車の普及が環境問題に与える影響について、どのような印象をお持ちですか。(1つ選択)

1. 良い印象	78人
2. どちらかという和良好的印象	118人
3. どちらかという悪印象	39人
4. 悪い印象	17人



Q 5：Q 4 の回答を選択した理由を教えてください。(自由回答)

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

【「1. 良い印象」を選んだ理由】

- ガソリン代が高いから。
- 二酸化炭素量を削減出来て、環境に優しい印象があるから。
- 排ガスが出ないので、地球温暖化を抑制できる。
- 地球温暖化防止に効果がありそう。合わせて自然エネルギー発電促進も必要。
- 環境に配慮している。
- 災害時に非常電源として活用できる。

- 最新の安全性を兼ね備えた、究極のエコカー。
- ノンカーボン対策になる。ただし、航続距離と充電スタンドが少ないのが悩みどころですね。
- 年々異常気象が当たり前になり、考え得る温暖化を防ぐ事を普段使いの物から変えていくべきと思うから。
- 自動車も水素エネルギーがもっと身近に使用できるようになればと思う。
- EVを作る時に二酸化炭素を使うから意味がないという意見もありますが、そこで使う電力をカーボンニュートラルにできれば、二酸化炭素量を減らせるわけです。寒さに弱いという弱点も雪の少ない新居浜市ならあまり関係ないので、EV普及に問題の多くない新居浜市からどんどん普及させていくべきだと思います。
- 太陽光発電で充電し、EV車の充電が可能。将来はペロブスカイト太陽電池で家、自動車、駐車場で充電出来るようになると思うから。

#### 【「2. どちらかというの良い印象」を選んだ理由】

- ガソリンは高騰しているため、生活は楽になると思うが、電気を発電するのに、環境負荷になるため。
- 排気ガス問題がないイメージだが、電気代が高騰する中果たしてランニングコストで差額以上に回収できるのか不明
- 排気ガスの問題等で良い印象がある。だからと言って自分自身が欲しいとは思わない(慣れ)
- 環境問題と言われると、やはり、ガソリン車は・・・と言う事になるから、これからの時代は、電気自動車かなと思う。
- 電気も元は所詮石油や石炭。
- 環境、燃費にはメリットを感じるが、長距離移動や、初期費用に不安がある為。
- 生活が電気に集中するのもよくないと思う。選択肢が色々あり競合することで性能向上に繋がるのが良い。なので電気自動車を推進するのであれば、あくまでも推進事業であって、助成金や給付金で知識が浅い消費者を誘導するのは好ましくない。
- 総合的に電気をつくるときのことや管理、またバッテリー製造や廃棄のことを考えると、環境に対して良いのかどうか分からないです。
- 印象的には、環境にやさしいなどの報道の影響もあると思います。結局電気を作るのにまだどれだけCO2が発生するのか。バッテリーなどの廃棄は環境に優しいのか。情報が少ないのでわからない。
- 電気自動車は走行時にCO2を排出しませんが、そもそも使用している電力を作る際にCO2が排出されています。現在の日本では化石燃料による発電もまだまだ多く、原発も決して安全な電力とは言えないと思います。こう言う状況で電気自動車に両手を挙げて賛成とは言い難いです。ただこのまま環境破壊を見過ごすこともできないので、発電そのものに自然エネルギーを活用するようになれば良いと思います。
- 田舎では電気だけの自動車は冬に立ち往生した時暖房で電気使い切った後充電する

場所にレッカー移動しないといけなくなり、後続の車にも渋滞の影響が出ます。ですから田舎はハイブリッドが一番良いです。ガソリンさえ補給すればすぐ動き、暖房も再開できる。

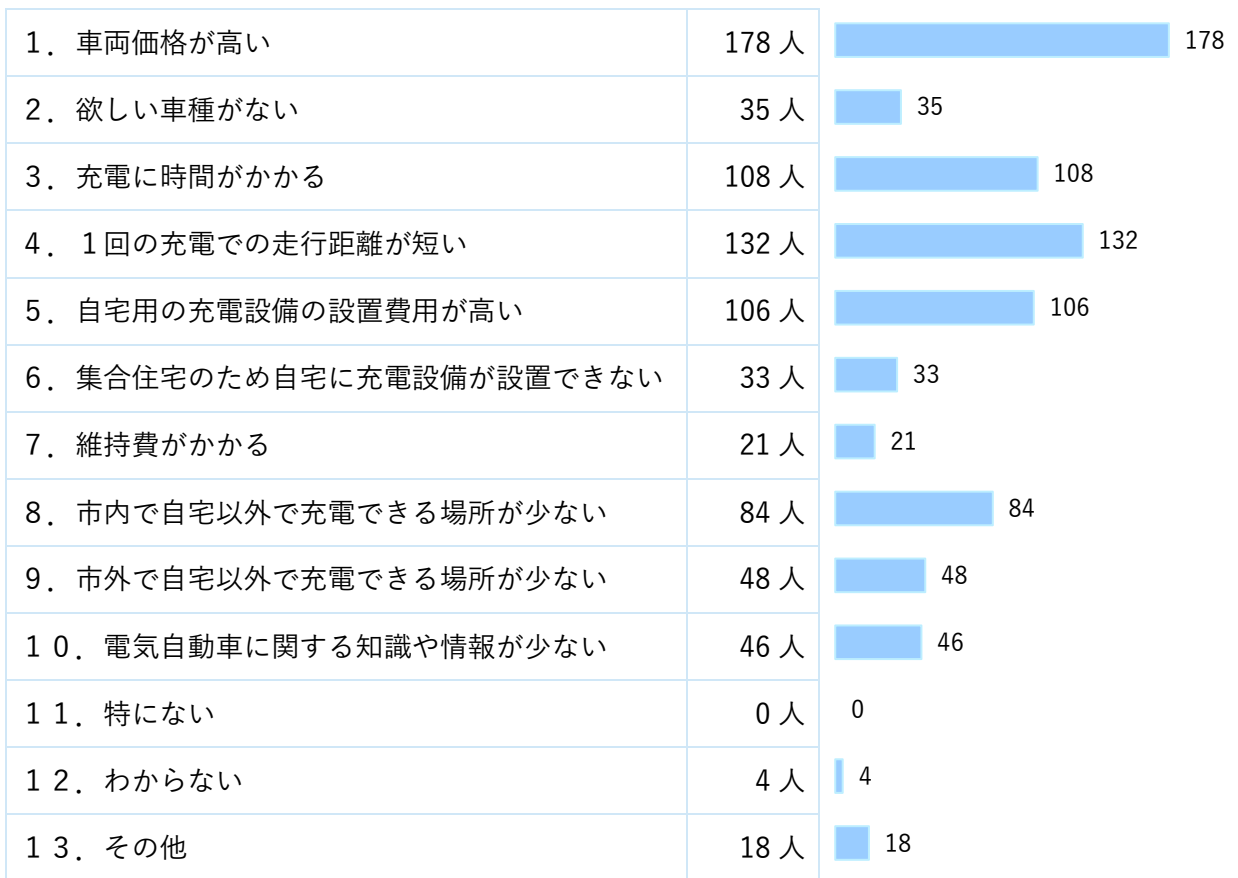
### 【「3. どちらかという悪い印象」を選んだ理由】

- 電気自動車だけを推進するのではなく、多面的に対策案を出して対応してほしい。運転時のco2排出量だけで議論しているので、危機管理も含めた議論をしてほしいです。
- 電気を使うための発電設備が足りて無い現状で、電気自動車の普及は無理と感じます。原発のフル稼働も出来ない今日において、節電を叫びながらのEVの推進は、あり得ないと思います。不安定な太陽光発電や、風力発電に多額の税金を使い、電気料金の高騰で産業が疲弊している時代には、釣り合わない政策だと思います。電気を作って車に充電するよりも、ガソリンを入れるだけのほうがコストは掛からないはずで。海外、ヨーロッパなどはEVから内燃機関の自動車の見直しも始まっている現実があります。世界を平らな目で見て日本の自動車産業を考えるべきだと思います。日本には世界には世界に誇る自動車産業があります。自国の産業を大切にすることは如何でしょうか。
- まずは自動車産業に与える影響。EV化が進むと車両の部品点数が大きく減り産業全体へ大きなマイナス要因となる。次に環境面では車両は排ガスを出さないかもしれないが、使用するエネルギー(電気)は新たに発電する必要があり、震災以降原発の稼働が進まず、結局は化石燃料の輸入に頼らざるを得ず電力に重点依存することにより国際情勢や為替に大きく経済がゆすられることになる。同様に安全保障上のリスクも大きくなる。
- バッテリー使用後の環境問題は、未解決・不透明部分が多い。

### 【「4. 悪い印象」を選んだ理由】

- 先ずは、EVの蓄電池の寿命が短い、車両価格が高い。航続距離も短い。
- EV車のバッテリーに信頼できない(バッテリーの火災をよく聞く)ボディの補修が高額と聞く、また新車購入も高額である。
- 製造から運用、廃車までのCo2排出量は内燃機関車よりも遥かに多い。また、EV車用の大型バッテリーの廃棄も問題。さらに電気代高騰、圧迫している現在、EV車にすると原発を1基のみ運転している現状ですら電気が足りてないのに走行距離のないEV車が普及してしまえば社会がどうなるか考えればわかる。目先の耳心地のよい一瞬だけの利益に飛びつきすぎだ。そもそも各駐車場に充電ステーションの工事とか環境問題的に駄目でしょ。
- 電気を作るにしても、結局発電所で二酸化炭素は出るし、充電切れで走れなくなれば立ち往生するし、あまりいいことがない。
- ガソリン絡みの車のほうが便利である。

Q6：電気自動車を購入又は所有する上での課題は何だと思えますか。最も当てはまるものを3つ選択してください。(3つ選択)



Q7：Q6で「13. その他」を選択した方にお伺いします。どのような課題があるか具体的に教えてください。(自由回答)







ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 自分の行動範囲で充電が切れたら、どうにもできなくなる。
- 何もかも電気にしてしまうのはよろしくない。リスクは分散させるのが好ましい。
- 現在の自家用車購入から期間が経っていない。
- バッテリーの消耗劣化の問題は大きい。携帯電話でその経験は誰にでもあるはず。
- バッテリーの交換費用、バッテリーの廃棄による廃棄物処理の問題、寿命を知るべき。便利な人工物には寿命が伴う。アナログの良さは無理せず残す努力も必要。
- バッテリーのリサイクルが困難なこと、また発火した時消火が簡単ではないこと
- 電気自動車はガソリン車に比べ高い、航続距離が短い、充電スタンドなどのインフラが未整備、国産車の車数が少ない、海外に比べて普及が遅れている→残念ながら、国内ではまだ購入すべきではない。
- 国の補助以外にも何かしらの対策がほしい。カーシェアリングとかもあれば良い。
- 市内や近郊において Google マップなどに充電スタンドの表示拡充がされていない

ので、走行時に不安になりそう。

- 将来のEV車の廃車、廃電池回収が大きな問題になりそう。
- 電気エネルギーはためることが難しいものです。無理に転換を早く押し進める必要はないと考えます。たかだか80億人が束になって地球温暖化をくい止めることなど、この星に対して失礼だと思います。
- 愛媛県は自動車購入時の補助金が少なく、東京と比べてとても格差があると思う。同じものを買うのに何十万も価格に差があると、購入をするのに不公平感がある。仮にそうであった場合、全家庭に一律で充電スポットを整備するには金がかかり過ぎると思います。
- 修理すればまだまだ使える車をエコのひと言で買い替えるのも愚かだと考えます。車を作ったり廃棄するのにどれだけ環境に悪いかというものをあまりにも考えていないから一概にどちらが良いとは言えない。またコストパフォーマンスがどうかなども良くわかっていないから回答しにくい。また電気が今後も安定価格で供給されるとは考えがたい。

Q8：今後の電気自動車の普及に、本市がどのようなことに取り組むことが有効だと考えますか。最もあてはまるものを3つ選択してください。（3つ選択）

1. 車両購入の際の補助金交付	197人		197
2. 充電できる場所を増やす	201人		201
3. 電気自動車を体験する機会をつくる	87人		87
4. 電気自動車に関する情報の発信（→Q9へ）	51人		51
5. 市役所や民間事業者の率先導入	89人		89
6. その他	28人		28

Q9：Q8で「4. 電気自動車に関する情報の発信」を選択した方は、どのような情報を知りたいか具体的に教えてください。（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 他市、他県等取り組みが上手くいっている所の情報
- メリットだけでなくちゃんとデメリットにも触れる
- 最高何キロまで走れるのか
- 電気代がどのくらいかかるのか
- 充電場所

- 補助金制度を作るのであればそのお知らせ
- 充電に必要な時間、金額、走行可能距離、燃費
- 電気自動車と他の車とのメリット・デメリットの比較
- 考えられるトラブル
- 維持費修理費の正確な金額
- メンテナンス方法とその費用
- 充電設備の工事とその費用
- 買い替えタイミング
- 走行距離や耐久性、ハイブリッド車から比べるとどのくらい利点があるかなど。
- 環境に優しいだけでは、納得出来ない。環境に優しくないでしょう。海外の電気自動車市場からホンダも三菱も撤退と聞く。どこに未来が？
- バッテリーの寿命
- 車両価格、新車情報
- バッテリー発火などの安全性
- 何年乗れば co2 が有利だから、どういうメリットがあって勤めていて、それがどの程度個人に金銭的メリットがあるか。
- 事故にあった時の対処法や、現存の電気自動車の車種、見た目
- 車種によってバッテリー容量は違うし、満タン充電で走行可能距離は違うので、わが家も車を買う時にあちこちディーラーを回って話を聞くのは手間だった。わが家で購入したのはバッテリーの保証期間が7年だったが、購入して数年でバッテリー交換が必要というのはまた大きな出費になるし、リサイクルできない大型ゴミを出してしまうことになるので、そちらの問題にどう対処するのかという情報も知りたい。
- 電気料金が毎月どれほど負担になるか等の具体例

Q10：Q8で「6. その他」を選択した方は、どのようなことに取り組むことが有効か具体的に教えてください。（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 市が主導でEVのカーシェアリングの導入を構築する。
- 別に普及させる必要はない。
- 購入もそうだけど家での充電環境の補助金
- 自宅などの充電設備 設置への補助金
- 電力が逼迫したり、価格向上など電気自動車がトータルでいいのかを説明すべき。それからの導入でしょう。
- 電気自動車を推進するのであれば、先行して市内循環バスやタクシーを運用してはどうでしょう。

- カーシェアリング
- 電気自動車の普及は後手で良いと思う。今の安価な電気自動車は質が良いとは思えず、普及したって、どうせ安価な電気自動車しか買えないのだから先進地は苦労すると思う。高級電気自動車が普及するのなら話は別。
- 安価な国産車の販売を急ぐべき
- 現状、取り組まなくてよい。新居浜は田舎です。東京、大阪ではありません。走行距離と短時間(数分)で燃料(充電)補給が出来る環境が重要です。それらを自動車メーカーがクリア出来ない時点で導入検討にすら値しない。田舎でEV車の導入は目新しいものに飛びつく金持ちの発想です。中国のEV事業失敗や欧州の内燃機関車販売期間の2030年から35年への延長がすべてを語っています。
- 車が古くても乗り続ける事、ヨーロッパのように古い車を、長く乗り続ける事がエコなので古い車ほど減税すべき。
- 本当に環境に良いのか？は検証して貰いたいです。作るどころから始まり、使用時のランニングコストや電気を発電所で作って車に充電して、おおよそ何年使えるのか。廃車にしてからは中古車として回っていくのか。様々ありますが、ガソリン車、ハイブリット、水素車など全ての車において検証しないと普及はしないと思います。
- 電気自動車への補助金などは絶対にするべきではない。税金は他の事に使うべきです。自動車は個人で買うもの、行政が後押しするべきものではないはず。安易な税金の使い方は辞めるべきです。買う人と買わない人に差が出る使い方は駄目でしょう。
- 今後の電気自動車が良いだろうだけでなく負の予想もして進めて欲しい。ヨーロッパでも初め電気自動車全てに切り替えると言っていたが今違ってきている。ハイブリッド等も視野に入れて欲しい。
- 電気代の補助
- 糸町プロジェクトのような、走行中充電道路の整備した住宅地に、車の駐車場自動充装置、自家用蓄電池を揃えた太陽光発電の家と太陽光発電の屋根を持つ駐車場に太陽電池を外装にしたEV車が走る、先端住宅地の整備。
- 以前電気自動車を持っていましたが、購入代金が高い。充電時間が長い。長距離移動に時間がかかるといったストレスが大きい。それに加えて太陽光などの自然エネルギーからの充電じゃないと環境には、優しくない。車自体の性能はガソリン車以上だと思うので、環境整備することが一番大事だと思います。
  - 1.車両購入時の補助金を東京と同じレベルにする。
  - 2.公共機関の全てに現在で最大容量の急速充電器を複数台設置する。
  - 3.充電器設置の補助金を出す。(個人、法人両方)
 それぐらいのアピール、環境整備をしないと電気自動車の普及は無いと思います。市内を買い物などで回るくらいならバッテリーは持つが、市外に出たり高速に乗る



と間に合わなくなると思う。できれば四国内の充電できる場所が簡単に知りたいた  
らうから、そういうマップがあると良いのでは？

- 電気自動車の貸し出し(カーシェア)を検討してもいいと思う。
- 使用済み車両のリサイクル
- 電気代が安くなること。車両価格がガソリン車と変わらないくらいまで下がる事。走行距離がガソリン車同様となること。充電時間が短くなること(10分程度)。フェリーなどで移動中に充電できると利便性が向上すると思う
- 電気自動車のデメリット多いのでは？事故した際の修理費用、充電場所、航続距離等。廃車にした際の環境問題。電気も火力発電等で作って結局は環境破壊につながっているのでは？全国車が電気自動車になれば電気不足になるのではないか？高齢者等、購入は無理。

## 総括

ご回答いただいた方のうち、電気自動車を購入・買い替えの選択肢として検討している方は21%で、電気自動車の現在の普及状況を考えて多くの方が関心を持っていることがわかりました。電気自動車の普及については、環境問題に対して良い印象を持つ方が多かった一方で、社会全体で使用する電力の増加やバッテリーの廃棄に関する問題など環境負荷の増加を指摘する意見もありました。また、カーシェアリングの実施やメリット・デメリットが比較できる情報を知る機会を求める意見もありました。

今回のアンケート結果を参考に、電気自動車の普及に関する施策に反映させるとともに今後の地球温暖化対策の推進に努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

(カーボンニュートラル推進室)